

広報

長湫地区北部自治会連合会

第24号
2021年
12月発行

ごあいさつ

皆さん、こんにちは、お元気にお過ごしですか、連合会長の細萱です。

昨年来の新型コロナウイルスへの感染対策で、今年もまた、皆さんにいつも楽しんで頂いている「夏祭り」や「餅つき大会」を始め、色々な行事を中止とさせて頂きました。申し訳ありません。

このこともあって、皆さんと顔を会わせて、色々なお話をする機会も大変少なくなってしまいました。そして、会う機会や話す機会が少なくなる、減っていくと、これまでの繋がりや絆が薄くなってしまいます。

このような“危機”の時こそ、皆さん方の力を合わせて、周りの方々との強い絆を武器に、何かと困っている、少しでも力を貸してほしい、という方々と一緒に手を携えていく時だと思います。

長久手市も、この様な時だからこそ、昨年に引続き、裏面でご照会しているコロナウイルス感染を意識し、また、避難時における“個”の確保をも意識した「市内一斉避難所開設訓練」を行いました。

当連合会といたしましても、この訓練に加え、災害発生時の避難行動について支援が必要な方の安否確認をする「災害時避難行動要支援者安否確認訓練」を、民生委員さんを中心にほとんどの自治会の参加協力のもと2年ぶりに行いました。

振り返りますと、8月半ばごろから本市においても、あれよあれよという間もなく、コロナウイルスの感染者数がほぼ毎日二桁となり、ピークの時は、1日19人も感染者が出ておりました。しかし、9月上旬を過ぎると感染者数が毎日一桁になり、10月以降は、本市内の感染者数が「0」という日がほとんどになってまいりました。本市におけるコロナワクチンの2回接種済み者の割合が約83%に達したこともあるのでしょうか、理由は色々あると思いますが、本当にありがたいことで、早く治まることを願っています。

ただこの一方、このコロナウイルスにオミクロン株という変異株が新たに発見され、再感染の危険性も増す、と警戒されてもおります。

この広報がお手元に届くころには、また感染が広まり始めているのではないかと、大変心配なところではありますが、どうか皆さん、いつもいつも同じことを申し上げて、耳にタコかも知れませんが、この様な危機の時こそ、人と人の繋がり、そして絆が、絶対必要で、これがあれば必ず乗り越えていけると信じています。

当自治会連合会も微力ではございますが、皆さんと力を合わせ、地域の方々の一層の繋がりや絆づくりに努めてまいります。皆さん、来年こそは、笑顔でそして元気で明るい毎日を過ごせる年にしていけるよう、力を合わせていきましょう。

来年もどうかよろしくお願い申し上げます。

そして、少し早いですが、『どうか良いお年をお迎えください!!!』

長湫地区北部自治会連合会 会長 細萱健一



会長
細萱
健一

市内一斉避難所開設訓練

11月21日（日）に市内一斉避難所開設訓練を実施いたしました。毎年11月には市内一斉防災訓練を実施しておりますが、昨年より避難所開設訓練に形式を変え、今回は2度目の避難所開設訓練となりました。自治会長さんと連合会役員等が訓練に参加しました。



訓練の開始・避難の流れや避難所の概要についての説明の様子



避難所の設営



設営された各機材



避難所受付シミュレーション

訓練では、段ボールベッドやゴミステーション等の機材を設置し、避難所を設営しました。また、感染防止ガウンを着て実際の避難所受付のシミュレーションを行いました。



感染防止ガウンの脱ぎ方訓練

避難所の開設情報等の配信について

災害時には、すべての避難所が一斉に開設されるのではなく、災害の規模や種類によって開設される避難所は異なります。避難所の開設情報は、長久手市の登録制メール配信サービスである「安心メール」で知ることができます。災害時に備え「安心メール」のご登録をお願いします。



このQRコードのメールアドレスに空メールを送ると安心メールの登録案内が届きます。

「安心メール」では、防災情報だけでなく、防犯情報なども配信しています。